

2012年5月21日

関係者各位

独立行政法人国立科学博物館
動物研究部長 松浦 啓一
NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク
理事長 山西 良平

第19回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催について(案内)

平素、自然史標本データ整備事業にご協力下さり、ありがとうございます。さて、第19回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会を下記のとおり国立科学博物館で開催します。

皆様のご協力によって現在、約222万件のデータがサイエンスミュージアムネットから発信され、GBIFへも英語のデータが発信されています。これらのデータの大半は標本情報です。標本情報は生物多様性の研究や保全にとって極めて重要であり、今後も標本情報の収集と発信に力を入れていきたいと思っております。一方、観察情報も生物多様性を知る上で大切ですが、現在のところ日本から発信されているデータには観察情報がごくわずかしかな含まれておりません。そこで、今回の研究会では観察情報について検討するためお二人の演者から話題提供をして頂くことにしました。

また、GBIFアジア地域ノード会合が今年の3月に東京で開催され、アジア地域のGBIF活動の現状と今後の方針が検討されました。そこで、同会議の報告とアジア地域のGBIF活動についてGBIF日本のノードマネージャーから報告して頂くことにしました。多くの皆様のご参加をお待ち致しております。ご参加いただける場合は、6月13日(水)までにメールで下記担当までご連絡ください。

記

日時： 2012年6月15日(金) 13時30分～16時

場所： 国立科学博物館・日本館(上野) 4階大会議室

主催： 国立科学博物館

共催： NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラムは別紙をご覧ください

本件に関する連絡先

国立科学博物館動物研究部

松浦啓一 電話:029-853-8301 メール:matsuura@kahaku.go.jp

福田知子 電話:029-853-8264 メール:t-fukuda@kahaku.go.jp

プログラム

- 13:30-13:35 開会挨拶 松浦 啓一 (国立科学博物館)
- 13:35-14:10 GBIF アジア地域ノード会合の報告とアジア地域における GBIF 活動の展望
細矢 剛 (国立科学博物館、GBIF 日本ノードマネージャー)
- 14:10-14:40 観察情報の集積と利用——標本情報と観察情報の横断利用実現に向けて——
大澤 剛士 (農業環境技術研究所)
- 14:40-14:50 休憩
- 14:50-15:20 鳥類における観察データの活用とその問題点
山崎 剛史 (山階鳥類研究所)
- 15:20-15:55 総合討論
- 15:55 閉会挨拶 NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク

会場案内

国立科学博物館

所在地 〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

会場：日本館4階 大会議室

※ご来館の際は「職員用通用口」からお入りください。

国立科学博物館 職員用通用口
こちらからお入りください

